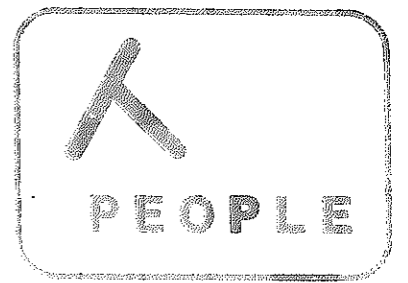


# 広報しろね

S·h·i·r·o·n·e

2000.1.1&15  
No.561



## 凧絵に魅せられて



風間正雄さん



「大凧と歴史の館」のホールを彩る美しい凧は、風間正雄さん(五十歳・下塩俣)によって描かれたものです。

「幼いころは魚町に住んでいて、凧作りを手伝っていました。凧絵を描くのは昔から好きでした。七年くらい前、凧絵師の今井三郎さん(五六ノ町六)の美しい凧絵を見て、本気で取り組んでみようと思いました」と言う風間さん。その後「大凧と歴史の館」がオープンし、風間さんは依頼を受けて、同館で飾り凧を描く実演をするようになりました。お土産用の凧の制作もしています。

風間さんの本業はカフェのマスター。定休日の毎週木曜日に凧絵の実演をするため、休める日は年に数日しかありません。早起きし、家でも凧絵を描く日もあるそうです。「続けるということは難しいことです。でも続けなければ自分自身が伸びないと思う」と言う風間さんからは、凧絵と真剣に向き合う気持ちが伝わってきます。

「大凧が仕上がると、大きな満足感があります。白根の凧は武者の顔に迫力があり、その力強さに引かれます。やっぱり揚がっているときの方が、凧の顔が生き生きして見えますね」と、凧への思いを話してくれました。

## 古木老木の伝承

～ふるさとの木々～

## カキ

カキは中国や韓国、日本が原産地といわれ、甘柿は日本原産です。栽培の歴史も古く、わが国最古の本草書「本草和名」に、その記載が見られます。

渋柿からは、補強や防腐のための塗料に用いる柿渋を作りました。渋紙や渋うちわ、漆器の下塗りなどに用いられました。また、未熟な実から生渋を取り、黒色や褐色の染料も作られました。多くは漁網に用いられ、やはり強化剤や防腐剤の役割を果たしました。材は堅くち密で、家具などに利用されました。

食用としては干し柿や生で食べるほかに、柿酢を作りました。皮をむき干して作る干し柿は、ビタミンAを多く



含み夜盲症などに効きます。生の実にはビタミンCを多く含んでいるので、特に酒の飲み過ぎに効果があると言われています。

カキは、多くの実をつける豊稔な果樹として神聖視されてきました。豊作を願って神棚に干し柿を飾り、元旦にいただく福茶とともに食べました。またお盆の祖先供養や田の神祭りでは、カキの葉にお供えを載せる風習がありました。

## 数字で見る市勢

※12月1日現在 ※( )内は前月比

人口	40,638人	(-38人)
男	19,888人	(-10人)
女	20,750人	(-28人)
世帯	10,846戸	(+11戸)
出生	25人	死亡 29人
11月中の転入	67人	転出 100人

◎新年あけましておめでとございます。今年もよろしくお願います。◎市政施行40周年記念事業の一つとして「広報しろね縮刷版」が、5月に発刊される予定です。大変なときに広報担当になってしまったと思いつながら、今は人の顔さえみれば「縮刷版ありませんか?」と聞いています。購入してもいいかなと思われる方、また、優しい心をお持ちの方、連絡お待ちしております。(ま)

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

# 市長年頭のあいさつ&平成11年を振り返って



市政クリップ(中ノ口川さわやか文化祭ほか)  
もうすぐ始まる介護保険  
まちの話題(凧揚げフェスティバル'99 in ケニアほか)  
お知らせ  
みんなのページ  
シリーズ・人